

- 1 「自治会」の現状からみえること！
- 2 あなたならどう思いますか？
- 3 女性に出来ることについて考えよう！

Sharing

シェアリング ～わかちあい～

〈特集〉「自治会」での女性の役割や活動について考える！

東日本大震災を機に、地域住民を支える組織として見直されている『自治会』で、**女性会長**の活躍が目立つようになってきています。また、子育てや介護などを通し、日頃から地域と密接に関わり、細やかな心配りが出来る人が多い女性の進出に、国や地方自治体も期待しています。

そこで、今回は『自治会』にスポットを当て、自治会での女性の取り組み方について考えてみることにしました。

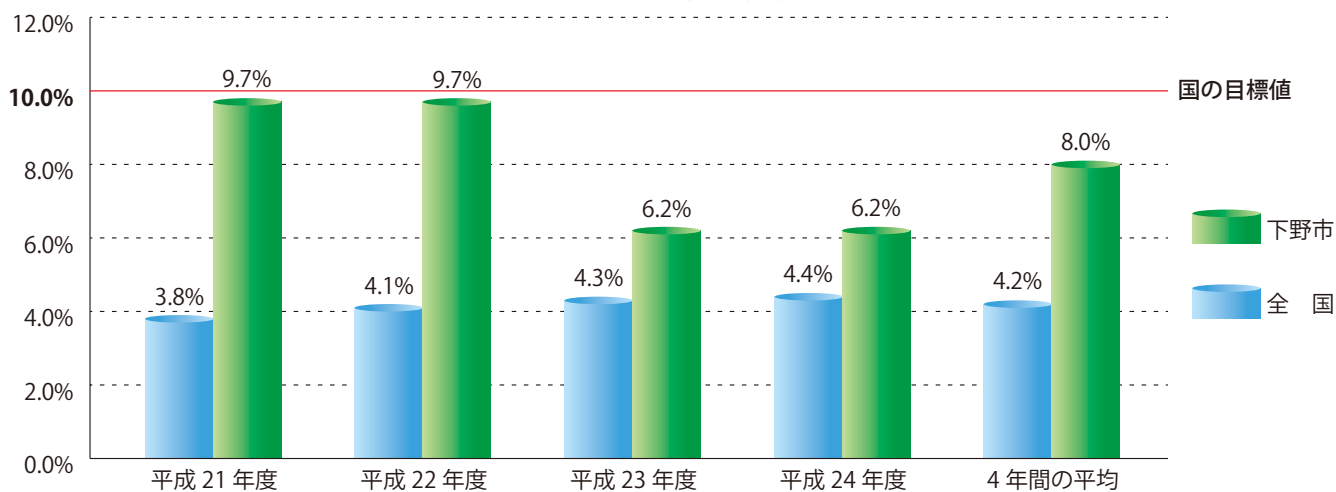
1 「自治会」の現状からみえること！

『女性自治会長』について！ ～自治会長に占める女性の割合～

内閣府男女共同参画局の調査によると、平成23年4月現在、全国の自治会長231,983人中、10,033人が女性で、全体に占める割合は**4.3%**です。

まだまだ少ないですが、少しずつ増えてきています。国では、地域における男女共同参画を目指し、平成27年には**10%**にするのが目標です。

女性自治会長の推移



下野市の『現状』について！

平成24年度の下野市の女性自治会長は、146自治会中9名(**6.2%**)で県内最高率でした。平成25年4月現在では、148自治会中14名(**9.5%**)と**3.3%**上昇しています。今後も女性の皆様の力に期待するところです。

タイトル由来

みんなが“わかちあう”大切さをもって、男女が協力しながら、男女共同参画社会をつくっていかれたとの願いが込められています。

「自治会」での女性の役割

2 あなたならどう思いますか？

自治会長の経験者や現職の方々にアンケート調査をしました！

下野市の自治会で、昨年度と本年度の女性自治会長の経験者（23名中－12名）と、男性は自治会長連絡協議会の役員（17名中－13名）からご回答をいただくことができました。ご協力ありがとうございました。

◆ アンケート調査の結果を集計しました！

<女性自治会長の声>

(1) どのような経緯で『自治会長』になりましたか？

- 順番による (4名)
- クジによる (4名)
- 指名された (2名)
- 互選による (1名)

(2) あなたが女性会長になり、自治会が変わったと思いますか？

- 変わらない (6名) (※理由：無責任なことを言われた・提案はしたが…)
- 女性の自治会長候補が増えた
- 女性の協力者が増えた
- わからない

(3) 自治会長を「やってみてよかった」と思うことは何ですか？（複数回答）

- 地域のことがよく理解できた (6名)
- 家族が協力的になった (4名)
- 勉強になった (4名)
- 女性が少なく、意見が通らない場合が多い (2名)

(4) 女性が自治会（地域）のリーダーになるためにはどうすればいいですか？

- 女性が活躍できる場を作る
- 決断するリーダーシップが必要
- 女性の視点で考える
- 自治会を簡素化する

(5) 現自治会長やこれからの女性自治会長にエールを一言！

- 女性でも充分務められますよ
- どんどん意見を出しましょう



◆ こういう事に早く気づいて！

絶対に『言ってはいけない』ひとこと

- 『だから女はだめなんだ』
- 『女のくせに何が出来るんだ』
- 『そんなに言うなら、あなたがやればいいんじゃないの』
- 『お茶の準備や後片付けは、女の人にまかせといたらいい』

もっともっと『言ってほしい』ひとこと

- 『おかげさまで、明るくなりました』
- 『そういう発想が素晴らしいです』
- 『会がなごやかにになりました』
- 『女性だから気がつくことです』
- 『これからもどんどん意見を言ってくださいね』

や活動について考える!

こんなにあなたを
応援してくれる方たちがいますよ!!



<男性自治会長の声>

(1) 女性が自治会長になると自治会がどう変わると思いますか?

- 男女平等の時代なので、女性の活躍の場が増える
- 男とは違うぎめの細かい運営が出来るので、高齢者などに優しい対応ができる
- 協力しようという気持ちが増し活動も楽しくなる
- 新しい視点で取り組むことにより新しい風が吹く

こんなご意見も……

- 特に何も変わらないと思う
- 男でも女でも自治会長になった方の資質で変わると思う

(2) 女性が自治会(地域)のリーダーになるためにはどうすればいいですか?

- 積極的に各種行事などに参加して勉強する
- 役員等を経験してから、会長としてどういう地域貢献ができるかを考える
- やりやすい環境を作ることにより、容易な運営ができるようにする
- 男女の区別などは取り除く
- 何をするのか目標を決めてはどうか

こんなご意見も……

- 地域住民の意見を良く聞き、自分一人で行動しない
- リーダーになるための「研修」などが必要
- まずは、自ら手を挙げる

(3) 現自治会長やこれからの女性自治会長にエールを一言!

- みんなの声を聞き、頑張るって努力する
- 自信を持って活動する
- やる気があれば充分活動できる
- 心から応援します
- 女性あつての地域社会、女性自治会長を大歓迎します

こんなご意見も……

- 地域や社会に貢献できることを考える
- 勝手に動かず相談する

自治会の活動は、多くの方々の協力が
必要不可欠であることが分かりました。

新しい視点でよりスムーズな活動ができるよう、
編集委員会では次ページに掲げる『10の提案』をします。

女性自治会長の皆様には、是非これからも自治会運営に携わって
ご活躍いただきたいと思います。



3 女性に出来ることについて考えよう！

女性の多くの方は、家庭の中では、家事や育児や介護など、とても多用な日々を送っています。

女性が生き生きと活動できるための「10の提案」をします！



●ご意見等を募集しています！

男女共同参画情報紙「シェアリング～わかちあい～」に関する皆様方のご意見・ご感想を随時募集しています。また、男女共同参画に関して、身の回りで感じていることなどもお寄せください。お待ちしております。

編集後記

編集委員：松本文男・山口容子・小幡洋子・中川美恵子・坂本貞夫・楡木悦夫

・朝顔の絵を描き終えて夜半ふと「朝顔につるべとられてもらい水」加賀の千代女の句を思い出した。可憐で庶民的な魅力ある花、早朝に花開き、昼前にはしぼんでしまう花は、はかない美しさがあり癒しもある。日本列島の秋は紅葉の温度差も待ちわびる一つ。

・第10号のテーマは「女性自治会長」についてです。自治会の活動は今まで男性が中心になり運営してきましたが、特に何かを意識でもしない限り、自治会長が女性でも何の問題もなく、スムーズに運営できるでしょう。今回のテーマである女性自治会長の皆様方のご意見なども参考にさせていただき、地元や地域の自治会活動に是非ともお役立てください。

企画・編集 下野市男女共同参画情報紙編集委員会

発行 下野市総合政策課

〒329-0492 栃木県下野市小金井1127番地

TEL:0285-40-5550 FAX:0285-40-5572 E-mail:sougouseisaku@city.shimotsuke.lg.jp